

セファロスポリン系抗生物質製剤

動物用セファゾリン注「明治」

注射用セファゾリンナトリウム

本品は用時溶解して用いるセファゾリンナトリウムの凍結乾燥製剤で溶解性にすぐれている。セファゾリンナトリウムは細菌の細胞壁合成を阻害することにより殺菌的に作用する。セファゾリンナトリウムはブドウ球菌、連鎖球菌等のグラム陽性菌と大腸菌、クレブシエラ、サルモネラ、パストツレラ等のグラム陰性菌に強い抗菌力を示し、単独感染および複合感染にも有効である。

【成分・分量】

動物用セファゾリン注「明治」は用時溶解して使用する注射剤で、1バイアル中にセファゾリンナトリウム1g（力価）、2g（力価）又は3g（力価）を含有する。

【効能・効果】

有効菌種：ブドウ球菌、連鎖球菌、パストツレラ、大腸菌、サルモネラ、クレブシエラ

適応症：牛－細菌性肺炎、細菌性下痢症、乳房炎、産褥熱

【用法・用量】

用時、注射用水又は生理食塩液で溶解し、1mL当たりセファゾリンとして約100mg（力価）に調製して用いる。

1日1回体重1kg当たりセファゾリンとして下記の量を静脈内又は筋肉内に注射する。

牛：5mg（力価）

【使用上の注意】

〈一般的注意〉

- （1）本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- （2）本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- （3）本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- （4）本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、5日を超える連続投与は行わないこと。
- （5）本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

〈使用者に対する注意〉

誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けること。

〈牛に対する注意〉

1. 副作用
 - （1）副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
 - （2）まれにショック症状を起すことが考えられるので、観察を十分に行い、症状が現れた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
2. 適用上の注意
 - （1）注射器具は滅菌されたものを使用すること。

〈取扱い上の注意〉

- （1）本剤は溶解を確認後使用すること。
- （2）溶解後は速やかに使用すること。
- （3）本剤は光によって徐々に着色することがあるので、開封後の保存には注意すること。
- （4）使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- （5）本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

〈保管上の注意〉

- （1）小児の手の届かないところに保管すること。
- （2）本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

注意－獣医師等の処方せん・指示により使用すること

注意－使用基準の定めるところにより使用すること

注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法・用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品であり、対象動物〔牛〕について上記の用法および用量ならびに次の使用禁止期間を遵守すること。

牛：食用に供するためにと殺する前3日間又は食用に供するために搾乳する前36時間

貯法 室温保存 密封容器

有効期間 3年（最終有効年月は容器および外装に記載）

【包装】

1g（力価）×10バイアル

2g（力価）×10バイアル

3g（力価）×10バイアル

販売元

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

製造販売元

テバ製薬株式会社

名古屋市中村区太閤一丁目24番11号